

鎌倉製作所（東京都港区北青山2の7の11、堀江威史社長、03・3403・4311）は防暑設備需要の本格シーズン入りを迎え、「クールーフファン（CRF）」の普及に全力投球中だ。CRFは工場・事業所の屋根に設置し、水の気化放熱で外気を冷却して室内に涼風を大量に供給する装置。低コスト、環境へのやさしさを武器に、ライバルである空調設備との棲み分けを図りながら、工場・事業所など大型の空間、熱負荷の大きい作業所といったCRFが得意とする分野にターゲットを絞り需要開拓を推進している。

防暑対策といえば、まず空調装置を思い浮かべる人が多いだろう。確かに、環境配慮への関心の高まりに対応するため、空調メーカー各社もインバーター制御による運転コントロールや蓄熱利用などの技術開発によって、空調機器の省エネルギー化を推進してきている。

費用対効果で差別化

流し、その気化放熱によって外気を冷却する仕組み。同社では気象庁が発表した相対湿度、気温を基に涼風効果を計算しているが、外気温と吹き出し温度の差は最大で11度C強となっている。これは、気温36・9度C、相対湿度37%の場合で、CRFの吹き出し

コスト 空調の約1/4

これに対して、鎌倉製作所のCRFは絶対温度で比較した冷却能力は低いものの、コストパフォーマンスでは圧倒的な優位性を誇っている。C

うえで大きなメリットがある。それは室内を陽圧に保ち続けられることだ。室内の汚れた空気を室外に排気するだけでは、負圧状態になり、外部から塵やほこりが侵入しやすくなる。CRFは水を膜状に常時流しているエレメントが吸気時の塵芥などを除去するうえ、屋内を陽圧状態に保つことで外部からの塵芥侵入も阻止し、室内の空気を清潔に保つ効果もある。こんな機能を持つCRFだが、設置コスト、ランニングコストともに空調設備に比べると大幅に安い。設置コストは空調設備に比べて約4分の1近く。ランニングコストも同程度の低水準といえる。鎌倉製作所はわが国の屋上換気装置市場でシェア40%以上を誇るトップメーカー

防暑とエコを両立®

気化放熱式涼風装置 クールーフファン(CRF)

で、ルーフファンはこれまで全国20万カ所以上の工場・事業所に導入されている実績がある。CRFはRFと取り付けベース部を同じにしたため、設備更新時に防暑対策を強化するといったケースでは、施工も簡単でコストもさらに安くなる。

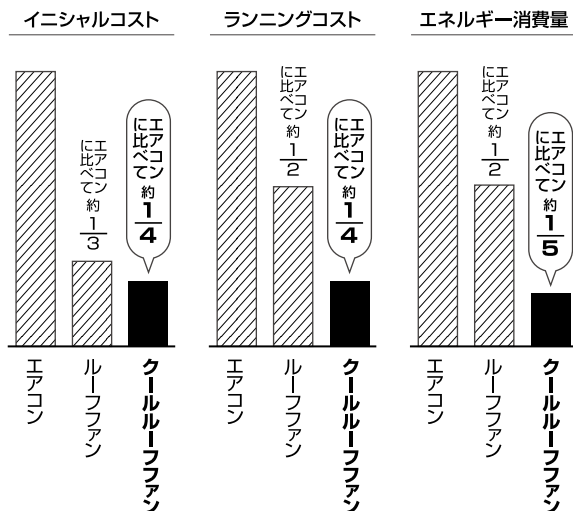
大型空間に的絞る

CRFはコンプレッサーなどが不要で、駆動部品はファンモーターと水の循環ポンプだけの簡単な構造のため、エネルギー消費も少なく、同社の試算によると空調設備に比べると最低でも5分の1程度に抑えられる。もともと、鎌倉製作所ではオフィスビルの防暑対策にCRFは不適格としている。冷却効果が限定されるため、コストは高いものの、全体空調やスポットエアコンが適しているとしている。これら空

調機器もメーカー各社のインバーター制御や電力が余剰になる夜間に蓄熱する技術開発のバフォーマンスで考えれば安い。さらに、省エネ法など環境規制の強化に伴って、これら工場・事業所に対する省エネ努力や、CO2排出抑制が今後一段と求められることが必至な情勢から見ても、CRF

の優位性を確信している。鎌倉製作所では、CRFの得意な需要分野にターゲットを絞り、空調装置が最適な市場とは棲み分けを図りながら、防暑対策強化ニーズの開拓を進める構えだ。（PR）

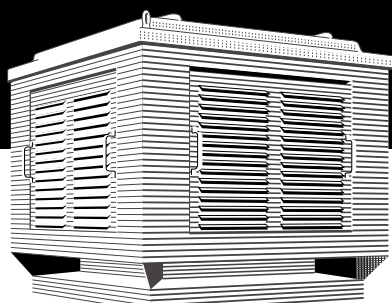
クールーフファンとその他の方式のコスト比較



アンケートはホームページから応募できます。
www.kamakura-ss.co.jp/crf/

アンケートにお答え頂いた方
 先着500名様
QUOカード
1000円
 プレゼント

'05年夏。
 これは
 防暑対策の
 新発見。



気化放熱式涼風装置

給気形ルーフファンのファンユニットに、水の気化放熱を利用するためのエレメントをプラスした「クールーフファン」。涼しくクリーンな風を的確に給気でき、工場・事業所の防暑対策に最適です。さらに、従来の冷房装置と比較して、イニシャル・ランニングコストを大幅にダウン。この進化したルーフファンで、快適な作業環境を実現してください！

クールーフファン

カマクラ
 株式会社 鎌倉製作所
www.kamakura-ss.co.jp